

身動きできない満員電車で ロリたちに勃起を勝手に 出されて射精させられた話



written by

ハメット

体験版

破滅乱淫オーガズム

**抜き
ノベ**

■キャラクター

姫乃 (ひめの)

ナマイキざかりのイタズラっ子。

いつもパパを勃起させようと奮闘しているが未達成。

はじめて目にした生勃起にテンションMAX。

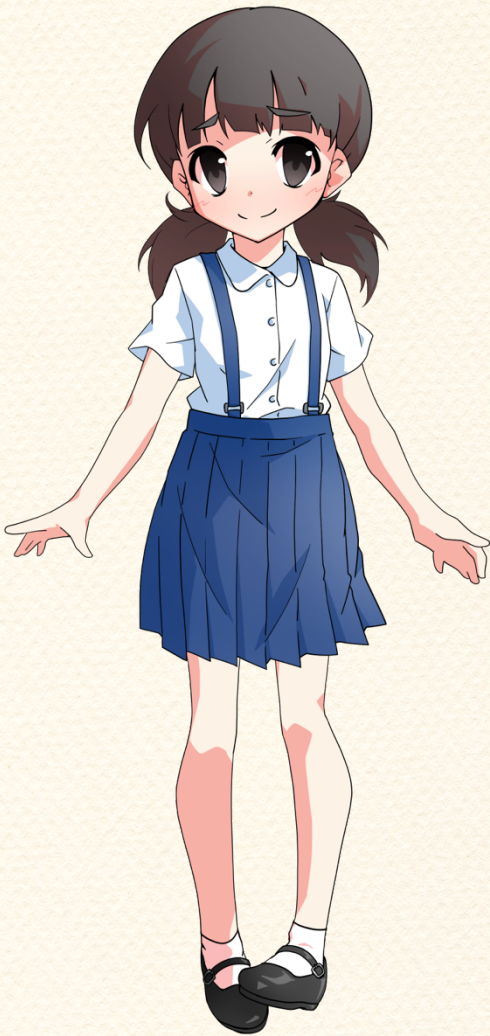


杏月 (あずき)

ひかえめながらも性知識が豊富なムツツリ娘。

おにいちゃんのエロ本をこっそり借りてオナニーするのが趣味。

日課はおにいちゃんを起こしがてらの朝勃ちチェック。



莉玖 (りく)

男子に混ざって遊ぶことも多い元気っ子。

お風呂では弟のおちんちんをしょっちゅうおもちゃにしている。

勃起ちんぽとは初対面ゆえ恥ずかしさもあrittつ、興味は津々。

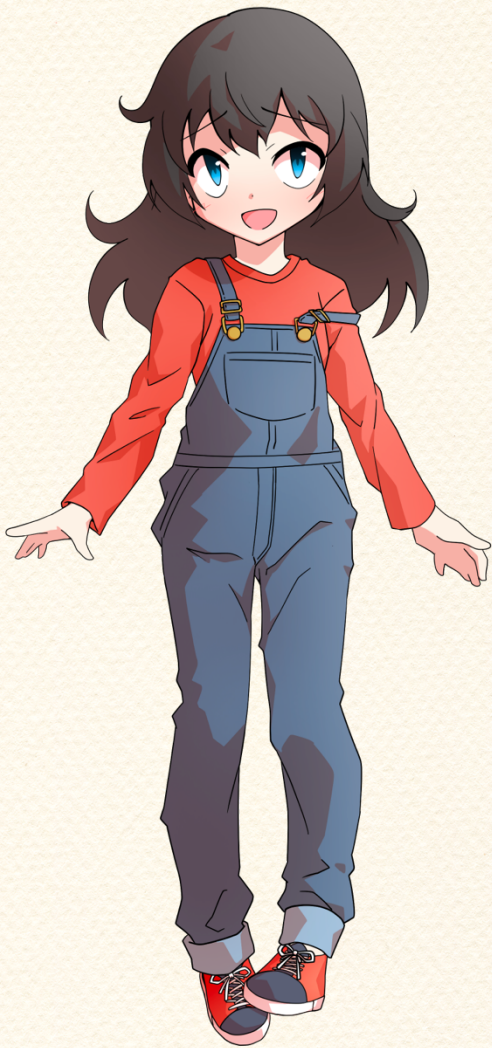


凧 (なぎ)

いつもぽよっとしている不思議ちゃん。

隙だらけなので悪いおとなにイタズラされることも多い。

勃起をさわらせられたり精液をかけられたりしたことも。



電車内に一步踏み入れた瞬間、うしろから怒涛の勢い乗り込んできた人の波に流されて、オレはなすすべもなく車両の奥へ奥へと押されていった。

あつというまに隅まで追いやられ、連結部近くの三人がけシート近くまで来たところで、思いきり足を踏ん張ってなんとか立ち位置を確保する。そうでもないかと、そのまま人流に押されて貫通扉で圧死でもしかねない勢いだつた。

それでもまだうしろからぎゅうぎゅうと押しやられるので、両手でそれぞれ吊り革をにぎりしめ、背を弓なりにそらせて必死に耐えた。押されるままにシートに座る乗客の頭上にでも覆いかぶさってしまおうものなら、気まずいことこのうえない。

(ん……?)

と、そこでようやく、目のまえのシートに腰かける小さなシルエットに気がついた。

きよとんとした顔でこちらを見上げていたのは、四人の少女だった。

身体が小さいので、三人がけのシートに四人で座っていても、ちっとも窮

屈そうではない。

オレは背後からの絶え間ない圧力を受けて背中をそらした状態のままだったので、彼女たちに向かって大きく腰を突き出すような格好になってしまっていた。

(いやいや、これ股間見せつけてるみたいでマズいだろ……)

おまけにくたびれたジャージを穿いてきたもんだから、薄い生地 of 股間部がもっこりくつきりはつきりと盛りあがってしまったている。

数駅先の町に住む悪友宅へ行くだけだからと部屋着用のジャージのまま来てしまったのだが、こんなことならもう少しマシな服を選んでおくんだった。

しかしまあ、ほんの十分足らずの辛抱だ。

心のなかで念仏でも唱えているうちにすぐ着くだろう。——いや念仏なんか知らないけど。

ドアが閉まり、電車がゆっくりと動きだす。

揺れのおかげで背後からの圧力がちよつとだけやわらいで、さつきよりは楽に立っていられるようになった。とはいえ、それでも両手で吊り革をつかんでいないと体勢をキープできないというのは変わらない。

次の駅に着けば多少の乗り降りがあるだろうし、そのタイミングでうまく立て直せれば——そう思ったとき、電車がゆっくりと停止した。まだ発車し

て一分とたっていない。

「えー、ただいまとなりの駅で非常停止ボタンが押されたため、安全確認を行なっております。確認がとれしだいの発車となりますので、申し訳ありませんがそのまましばらくお待ちください。お客様にはお急ぎのところご迷惑をおかけしまして——」

……どうやらまだしばらくはこのままの姿勢を保たなくてはならないらしい。

せめてもう少し楽にならないものかと、ぐっとケツで背後の客を押ししてみる。

しかし、より強い力で押し返されただけだった。

(くそっ、どんなヤツが……)

首だけねじまげてうしろを振り返ると、ふわっと甘い香りが鼻をくすぐった。

(やべっ……)

背後にいたのは制服を着た女子高生だった。

いや、背後だけじゃない。見渡してみれば、近くに立っている客はオレ以外、みんな女子高生だった。

まさか女性専用車両だったんじゃないかと焦ったが、遠くには男の姿が見えて

いる。運悪くJKの集団に巻き込まれてしまったというだけのことらしい。

(しかし、まいったな……)

周囲を女子高生に囲まれているとなると、うかつに身体を動かすこともできやしない。意図せずちよつとぶつかっただけでも痴漢だなんだと騒がれたら、そんな事実はなかりうとも速攻アウトである。

緊張に身を固くしつつ、意識をそらすつもりで視線をさまよわせていたら、眼下にちらつく肌色に焦点が定まった。

(おお……)

目のまえのシートに座っている女の子たちは、あらためて見ると大変にけ

しからん姿をしていた。

ポニーテールにした明るい髪の毛を樂しげに揺らす子の白いワンピースから伸びる、しなやかでまぶしい生脚。笑うたびに両脚をぱたぱた動かすので、太もものきわどいところまでちらちら見えてしまっている。

小麦色に日焼けしたボーイッシュな子は健康的に引き締まった脚をショートパンツから大胆に露出しているうえ、ノーブラらしくTシャツにはぽつちりとふたつの突起が浮かびあがっていて、無防備にもほどがある。

ひかえめな笑顔を見せるおとなしそうなおさげの子もまた、ブラジャーをつけていないらしい。汗っかきなのか、制服らしき白いブラウスの胸元が濡

れて張りつき、肌とはあきらかに違う色がうつすらと透けてしまっている。

ぼんやりとみんなの話を聞いているぼさぼさ髪の子は、夏だというのに長そでにオーバーオールという重装備で、一見すると見逃してしまいがちだが、厚着でも発育のよさをうかがわせる胸とお尻のボリュームが想像をかきたててやまない。

どこかへ遊びに行った帰りなのか、みんなして手にファーストフード店の紙コップを持ち、ぷりぷりの唇でちゅうちゅうとストローをすすっている。

(いやいや、こんなの目の毒すぎるだろ。うっかり反応でもしちまったら…

…)

目をそらそうとしたとき、制服の子がなにかを足元に落としたりしく、座
つたまま床に手を伸ばした。

(見えっ……!?)

続きは製品版でお楽しみください。

■サークル「破滅乱淫オーガズム」作品一覧

既刊

- 【1】委員長・静井莉子の露出自慰日記（優等生のカゲキないキぬき）
- 【2】ロリのふりして脱法露出！合法ロリでも外で脱いだら違法です！！
- 【3】露出体験告白 イキすぎた公開絶頂
- 【4】着衣女性×露出男性 勃起見せつけ体験集
- 【5】時間停止能力を手に入れて露出オナニーを満喫してたら人生終了しちゃった話
- 【6】全裸になりたいわたしたち 露出体験告白2
- 【7】身動きできない満員電車でロリたちに勃起を勝手に出されて射精させられた話

近刊

- 【8】娘がアダルトライブチャットをしていたのでエロirikエストをしまくった話

【9】イメージビデオに出演したら挿入がないだけでほぼAVみたいな撮影だった話

(近刊の発売順は変更になる場合があります)

*各電子書籍ストア、ダウンロード販売サイトにて発売中！

(ストア、サイトによっては規約の関係上、一部扱いのない作品があります)

公式サイト

<https://roshutsu-portal.com/circle/>

2023年12月現在